

# 埼玉県摂食・嚥下研究会

## 第6回 症例検討会

日時：平成22年**12月19日**（日）13：00～16：00

場所：彩の国すこやかプラザ2階セミナーホール  
2階研修室1・2・3

### 講演Ⅰ

演題：「摂食障害と胃<sup>いろう</sup>瘻について」

講師： まちの内科クリニック 院長

町野 裕之先生

### 講演Ⅱ

演題：「誤嚥性肺炎の予防（実践のポイント）」

講師： 埼玉県総合リハビリテーションセンター言語聴覚科長  
埼玉県摂食・嚥下研究会理事

清水 充子先生

### 症例検討

■定員：100名（申込みは先着順）

※参加者多数の場合はご連絡いたします。

※改めて参加証はお送りいたしません。

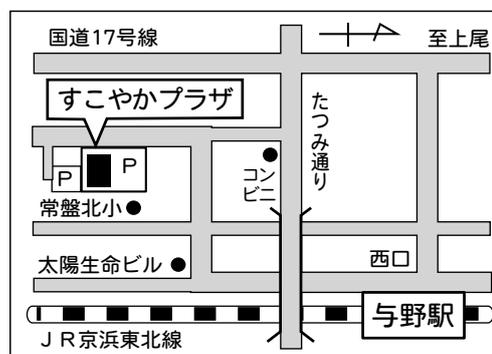
■参加費：会 員 / 無 料

非会員 / 2,000円（資料作成代等）

■申込締切日：12月9日（木）

主 催：埼玉県摂食・嚥下研究会

問合せ：埼玉県歯科医師会事務局 TEL 048-829-2323



**参加申込書** 埼玉県摂食・嚥下研究会（会員・非会員）※どちらかに○を付けてください

フリガナ		職 種	
氏 名		電 話	
住 所 (勤務先)	〒 -	F A X	

申込書 FAX先 **048-829-2376**



平成22年7月11日午前11時30分より、平成22年度埼玉摂食・嚥下研究会総会が、すこやかプラザ2階研修室にて開催された。

総会は、山崎議長が選出され、金井会長の挨拶の後、審議が行われた。議案は、第1号議案の役員選任に関する件、第2号議案の平成21年度

# 平成22年度総会 報告

# 埼玉県摂食・嚥下研究会だより

## 「高齢化時代のセーフティ・ライフを目指して」

事業の承認に関する件、第3号議案の平成21年度決算の承認に関する件、第4号議案の平成22年度事業計画の承認に関する件、第5号議案の平成22年度予算の承認に関する件が審議され、議案は原案通り承認された。

総会後、第11回講演会が開催され、摂食・嚥下障害認定看護師の寺見先生、管理栄養士の麻植先生による講演が行われた。会場には291名の参加者で、熱気溢れた。



島田 副会長



金井 会長

# 第11回講演会 報告

講演Ⅰ  
「明日からできる摂食・嚥下リハビリテーション」  
五星会新横浜リハビリテーション病院摂食・嚥下障害認定看護師  
寺見 雅子先生



寺見先生の講演の内容は、①食べることの意味（栄養を取り入れ、生命を維持する。生きる楽しみ）②食べる機能の障害（症状として「食べる時にむせる」「口の中に食べ物が

vol.16  
発行日 平成22年10月20日  
発行者 埼玉県摂食・嚥下研究会  
事務局 埼玉県浦和区針ヶ谷4-2-65  
彩の国すこやかプラザ5F  
(社)埼玉県歯科医師会内  
TEL 048-829-2323

残る」「食べるのに時間がかかる」「肺炎を繰り返す」③解剖生理と嚥下の仕組み等を話された。とくに最近の研究から、喉頭が開いているにも関わらず中咽頭まで食べ物が集積され（1〜10秒）、その後嚥下する様子を嚥下内視鏡（VE）のビデオを使って説明された。④食べるために必要な機能について話され、食べ物を適量ずつ口に運ぶには目と手と口の協調運動が大切だと強調された。次に姿勢が大切だと強調され、また体幹が安定し頭部をしっかり支えることによりはじめて手が使える。また、食べられる口の条件について話された。その中で口の中が湿っていると食べ物の移送が悪くなるため、飲み込みにくくムセやすい。また、味覚も感じにくくなる。（味わう喜びのためには口腔内の乾燥を改善することは重要）口唇閉鎖が不完全だと、捕食（食べ物を取り込むこ

と）が困難になるだけでなく咽頭圧がかからないため飲み込みにくくなる。次に飲み込む（嚥下と呼吸の協調運動）ということについて動画を使ってわかりやすく説明された。とくに咽頭残留の観察ポイントと除去法（咳払い、交互嚥下、複数回嚥下等）についての説明があった。

次に、食べやすい食事（適当な粘性があるもの、口腔や咽頭を变形しながらゆっくり移動するもの等）食べにくい食事（焼き魚のようなパリパリしたもの、チャーハンのようなバラバラしたもの等）についての話があった。また、窒息しやすい食物はもち、パン、米飯の順でおかゆなどは窒息しにくい食べ物である。とろみをつけることにより飲み込みや





する多くのマネジメントを担っていること。  
 そして特に高齢者に見られる低栄養の3分類ではクワシオコル型PEM、マラスムス型PEM、2つの面を有するクワシオコル・マラスムス型PEMがあり混合型では特に高齢者にこのタイプが多く表面上分らない話もされた。またこれに関して低栄養状態の解説もあった。

③ 栄養のお話  
 栄養は、なぜ人にとって必要なのか。1日一兆個の細胞が死滅して行く中で、それを日夜作り変えて行かねばならない。そして5大栄養素をしつかり取って、死滅した細胞の代わりになる新しい細胞を生み出すために栄養が必要になる。特に脳の細胞を作る炭水化物はなくてはならないものであり、朝昼夜必ず取ることが心がける必要がある。また、たんぱく質の摂取については、卵を1日1個高齢者では取った方がよい。良く言われるコレステロールの取り過ぎについて、体で合成される量に比べ、ずっと少ないので敵対視しないで欲しい。その他、5大栄養素はなぜ・どこに使われるので必要なのか。高齢者ではその不足が、どういった体の変調をきたすのか関連付けをして説明があった。必要エネルギー量と必要水分量は、特に高齢者での水分不足を考慮する必要がある、食事が少ない時には脱水に注意す

ること。この後、献立から必要エネルギー量の摂取のために必要な献立の工夫が、あれこれ事例付きで面白かった。高齢者の間食は、栄養補給エネルギーの不足分を取る意味合いが強い。  
 ④ 明日から実践出来る栄養たっぷり嚥下食  
 実際に食形態評価をどのように行っているのかを、都筑シニアセンターのたぐさんの事例を示して解説していただいた。



栄養摂取は口から食べる事の支援として特に食事の役割が重要で、生命維持・精神的な満足度・人間関係を保てる事でQOLは向上し、患者さん自身の生きる権利と喜びが維持される。そしてどういった食材が高齢者にとっては苦手で、それをどう調理するか実例が多く、参考になった。ソフト・ミキサー・ゼリーの活

用で食形態の底上げを図ると良い。食材には、普段我々が何気なく使っているのに意外と知られていない物が多く、ちよつとした工夫・アイデアで調理時間の短縮・食材の効率利用が出来る。  
 ⑤ 病院や施設に導入するための「病院や施設で導入するためにはどうしたら良いのでしょうか」と言う段階になると、どんな(1)入所者が多いのか、(2)嚥下食の導入準備はどうするか、(3)実際の食事内容を検討する、となる。そこで3つの側面から解説があった。

「本日のまとめ」

- ✓ 摂食・嚥下リハビリテーションにおける管理栄養士の役割とは、その方が生きてきた環境に思いをよせ、「色」や「美味しさ」「香り」などによって精神的な満足感を引き出すことである。
- ✓ 栄養士や演習生にしかできないことがあるというところに誇りを持って、職としてのアプローチをしていきたいものである。
- ✓ 摂食・嚥下リハビリテーション・・・あなたはどこで貢献できますか？

これら3つの実際の事例を詳細に説明しながら、最終的には結果が出た事が全てにおいて大事だとの結論であった。本当に面白い講演で、あ

つという間に時間が過ぎた。「まとめ」会場は、司会者席から見てもまったく空席がなかった、講演途中で寝ていたり、携帯がうるさかったりもせず、私語もない。勿論前半後半全く空席が出ず、急ぎよ通路にもある限りの椅子を並べる結果となった。

会場には普段あまり来場しない顔ぶれも多く本当に超満員であった。講師の両先生の話はさすがに神奈川のメーリング・リストでも活躍され、且つご自身も県内各地で時間があればこう言った話をされている、積極果敢な若手研究者である証といえる。今後はぜひ著書などを通じて再度栄養とは何か、摂食・嚥下障害の問題と関連付けて学習したいと思った。

会場には普段あまり来場しない顔ぶれも多く本当に超満員であった。講師の両先生の話はさすがに神奈川のメーリング・リストでも活躍され、且つご自身も県内各地で時間があればこう言った話をされている、積極果敢な若手研究者である証といえる。今後はぜひ著書などを通じて再度栄養とは何か、摂食・嚥下障害の問題と関連付けて学習したいと思った。

埼玉県摂食・嚥下研究会会員数 253名・31団体 (2010.7現在) ホームページ <http://www.ssek.net/>

世界約50カ国で愛用されているEBMに基づいた口腔ケア  
**口腔乾燥・・・biotène® バイオティーン**

+ だ液にも含まれる天然酵素  
 ラクトペルオキシダーゼ  
 グルコースオキシダーゼ  
 リソチーム

+ ラクトフェリン  
 + 保湿・潤滑成分  
 + キシリトール

21世紀の健康のキーワードは・・・**唾液!!**

全米歯科医師・歯科衛生士推奨  
 ドライマウスケア部門No.1ブランド  
 ※R042001EJカ

Recommended by The Oral Cancer Foundation  
 米国口腔がん財団推奨製品

T&K ティーアンドケー株式会社 フリーダイヤル 0120-555-350  
 東京都中央区日本橋堀留町1-5-7 TEL: 03-5640-0233 FAX: 03-5640-0232  
 URL: [www.biotene-tk.co.jp](http://www.biotene-tk.co.jp) E-Mail: [info@biotene-tk.co.jp](mailto:info@biotene-tk.co.jp)

## (1) 第11回講演会

平成22年7月11日(日) 13時～16時

彩の国すこやかプラザ

【講演Ⅰ】演題：「明日から実践できる摂食・嚥下リハビリテーション」

講師：医療法人社団 五星会新横浜リハビリテーション病院・摂食・嚥下障害看護認定看護師 寺見 雅子

【講演Ⅱ】演題：「明日から実践できる栄養たっぷり嚥下食」

講師：医療法人社団 横浜育明会 介護老人保健施設 都筑シニアセンター管理栄養士 麻植有希子

## (2) 第6回症例検討会

平成22年12月19日(日) 13時～16時

彩の国すこやかプラザ

## (3) 第12回講演会

日時未定

2. 摂食・嚥下研究会だより発行、ホームページの作成・更新。

埼玉県摂食・嚥下研究会だよりを発行(年3回)

ホームページの更新 (<http://www.ssek.net/>)

3. 摂食・嚥下研究会メーリングリストの作成

4. その他

(1) 年に3回の埼玉県摂食・嚥下研究会だより編集委員会を開催する。

## ◆第5号議案 平成22年度予算の承認に関する件

平成22年度予算の承認に関する件について、議決を求める。

【提案理由】

平成22年度予算の承認について、会則第11条第2号の規定に基づき提案いたします。

## 平成22年度摂食・嚥下研究会収支予算書

## (収入の部)

項	本年度予算額	前年度予算額	差異
入会金収入	30,000	30,000	0
会費収入	1,200,000	1,200,000	0
事業収入	570,000	510,000	60,000
寄付金収入	0	0	0
雑収入	0	0	0
当年度収入合計	1,800,000	1,740,000	60,000
繰越金	1,392,129	1,398,643	6,514
収入合計	3,192,129	3,138,643	53,486

## (支出の部)

項	本年度予算額	前年度予算額	差異
事業費	3,092,129	3,038,643	53,486
1.理事会・総会費	(202,400)	(202,400)	(0)
2.講演会費	(1,780,000)	(1,780,000)	(0)
3.広報費	(1,109,729)	(1,056,243)	(53,486)
予備費	100,000	100,000	0
当年度支出合計	3,192,129	3,138,643	53,486

## 埼玉県摂食・嚥下研究会役員名簿

役職	氏名	役職
会長	金井 忠男	埼玉県医師会長
副会長	島田 篤	埼玉県歯科医師会長
副会長	小嶋 富雄	埼玉県薬剤師会長
副会長	佐藤 進	埼玉県立大学長
専務理事	大渡 廣信	埼玉県歯科医師会会員
理事 (総務・会計)	深井 穂博	埼玉県歯科医師会理事
理事 (広報)	三木 昭代	埼玉県歯科医師会地域保健部副部長
理事	山崎 博	埼玉県医師会常任理事
理事	湯澤 俊	大宮医師会長・埼玉県医師会介護保険・在宅医療等推進委員会委員長
理事	小川 郁男	埼玉県医師会理事、埼玉県老人保健施設協会会長、埼玉県医師会介護保険・在宅医療等推進委員会副委員長、埼玉県耳鼻咽喉科医会理事
理事	嶋津 裕	埼玉県内科医会副会長
理事	棚橋 紀夫	埼玉医科大学神経内科教授
理事	大前由紀雄	埼玉県耳鼻咽喉科医会会員 大生病院 耳鼻咽喉科長
理事	安井 利一	明海大学学長
理事	清水 良昭	明海大学歯学部社会健康科学講座障害者歯科准教授
理事	鯉渕 肇	埼玉県薬剤師会副会長
理事	膳亀 昭三	埼玉県薬剤師会常務理事
理事	高久 悟	埼玉県立大学健康開発科教授
理事	向田 良子	埼玉県看護協会会長
理事	中島 悦子	埼玉県訪問看護ステーション連絡協議会長
理事	丸山 恵子	埼玉県歯科衛生士会長
理事	千葉 道子	埼玉県介護支援専門員協会理事
理事	清水 充子	埼玉県総合リハビリテーションセンター言語聴覚科長
理事	内田 淳	社会福祉事業団嵐山郷歯科診療担当医長
理事	川崎つま子	小川赤十字病院看護部長
理事	奥村 元彦	埼玉県歯科医師会地域保健部副部長
理事	藤野 悦男	埼玉県歯科医師会地域保健部副部長
理事	中里 義博	埼玉県歯科医師会会員
監事	丸木 雄一	埼玉県医師会理事、埼玉県医師会介護保険・在宅医療等推進委員会副委員長
監事	岩上 榮吉	埼玉県歯科医師会専務理事

## 平成22年度 埼玉県摂食・嚥下研究会 第6回総会報告

### ◆第1号議案 役員の選任に関する件

役員の選任に関する件について、議決を求める。  
【提案理由】役員の選任に関する件について、会則第11条第2号の規定に基づき提案いたします。なお、選任する役員は下記の6名です。

1. 会長 金井忠男
2. 副会長 島田 篤
3. 理事 深井穂博
4. 理事 三木昭代
5. 理事 嶋津 裕
6. 監事 岩上榮吉

### ◆第2号議案 平成21年度事業の承認に関する件

1. 会員数：正会員 253名

賛助会員 31団体 (63口)

#### 2. 理事会及び総会

平成21年7月12日 (日) 彩の国すこやかプラザ

#### 3. 講演会及び症例検討会

##### (1) 第9回講演会

平成21年7月12日 (日) 13時～16時

彩の国すこやかプラザ

講師：横浜市立大学附属市民総合医療センター  
リハビリテーション科 若林 秀隆 (医師)

演題：「症例から考える摂食・嚥下機能の評価との  
適応」

##### (2) 第5回症例検討会

平成21年9月27日 (日) 13時～16時

埼玉県県民健康センター1階大会議室A・B

【講演】講師：財団法人精神医学研究所附属 東京  
武蔵野病院歯科口腔外科部長 斎藤 徹

演題：嚥下障害のリハビリテーション

##### ①リハビリテーションの流れ

##### ②症例提示 (予後良好例、予後不良例)

実習 (頸部聴診法)

講師：財団法人 精神医学研究所附属 東京武蔵野  
病院歯科口腔外科 部長 斎藤 徹

講師：埼玉県摂食・嚥下研究会理事 中里 義博

##### (3) 第10回講演会

平成22年3月14日 (日) 13時～16時

埼玉県県民健康センター

講師 埼玉県摂食・嚥下研究会理事・医療法人尚寿  
会大生病院耳鼻咽喉科科長 大前由紀雄

演題：「嚥下障害を診る－根拠のある診断と対応－」

#### 4. その他

(1) 埼玉県摂食・嚥下だより第12号編集委員会  
平成21年4月9日 (木) 彩の国すこやかプラザ

##### (2) 監査

平成21年7月2日 (木) 埼玉県医師会

(3) 埼玉県摂食・嚥下だより13号編集委員会

平成21年7月30日 (木) 彩の国すこやかプラザ  
(4) 埼玉県摂食・嚥下だより14号編集委員会  
平成21年10月22日 (木) 彩の国すこやかプラザ  
【作業委員会】

平成21年6月4日 (木) 作業委員会  
彩の国すこやかプラザ

5. 摂食・嚥下研究会だより、ホームページの作成・更新を実施した。

埼玉県摂食・嚥下研究会だよりを発行 (年3回)

ホームページの作成・更新 (<http://www.ssek.net/>)

### ◆第3号議案 平成21年度決算の承認に関する件

平成21年度決算の承認に関する件について、議決を求める。

【提案理由】平成21年度決算の承認に関する件について、会則第11条第2号の規定に基づき提案いたします。

## 平成21年度摂食・嚥下研究会収支決算書

### (収入の部)

項	本年度予算額	本年度決算額	差異
入会金収入	30,000	31,000	△ 1,000
会費収入	1,200,000	1,389,000	△ 189,000
事業収入	510,000	1,182,000	△ 672,000
寄付金収入	0	0	0
雑収入	0	505	△ 505
当年度収入合計	1,740,000	2,602,505	△ 862,505
繰越金	1,398,643	1,398,643	0
収入合計	3,138,643	4,001,148	△ 862,505

### (支出の部)

項	本年度予算額	本年度決算額	差異
事業費	3,038,643	2,609,019	429,624
1.理事会・総会費	(202,400)	(196,034)	(6,366)
2.講演会費	(1,780,000)	(1,511,555)	(268,445)
3.広報費	(1,056,243)	(901,430)	(154,813)
予備費	100,000	0	100,000
当年度支出合計	3,138,643	2,609,019	529,624
次期繰越収支差額		1,392,129	

### ◆第4号議案 平成22年度事業計画の承認に関する件

平成22年度事業計画の承認に関する件について、議決を求める。

【提案理由】

平成22年度事業計画の承認に関する件について、会則第11条第2号の規定に基づき提案いたします。

本格的な高齢社会を迎え、高齢者が最期まで元気で、健康な生活を送れることが切実な課題となっています。「食べる」ことに障害を持つ高齢者や障害児(者)が大勢いるにもかかわらず、その取組みが遅れています。埼玉県摂食・嚥下研究会は、摂食・嚥下障害の諸問題への対応や啓発指導、リハビリテーションなど目的を達成するために以下のとおり事業を行います。

#### 1. 講演会・症例検討会の開催

(裏面に続く)